

官能小説（2007）

メディア 映画
ジャンル ロマン스 エロティック
製作国 日本
色彩 Color
時間 90分
初公開日 2007/02/17
公開情報 トルネード・フィルム
映倫 PG-12

【キャッチコピー】
好きになった男は、
官能小説家だった…

【解説】
藤井みつるの同名コミックを映画化した官能ラブ・ストーリー。主演はグラビアアイドルの大久保麻梨子。監督は「こぼれる月」の坂牧良太。商社の経理に勤める藤森彩は、若さに似合わぬお堅い性格から“お局様”ならぬ“小局様”と陰口をたたかれていた。ある日、彼女は営業部の新人・椎野太一を呼び出し、副業の疑惑を問い詰める。しかし、椎野が小説家だと告白すると、彩はそれを黙認する。その夜、椎野の小説を手にとった彩は、そこで初めて、それが官能小説であることを知るのだが…。

【クレジット】

監督	坂牧良太	
製作	大橋孝史	
プロデューサー	川島正規	
原作	藤井みつる	『官能小説』（小学館フラワーコミックス）
脚本	坂牧良太	
撮影	関谷和久	
美術	寺尾淳	
衣裳	吉田実穂	
編集	早川義城	
音楽	佐藤悠輔	
照明	佐藤友和	
	加藤正夫	
録音	長尾風汰	
助監督	永江二郎	
出演	大久保麻梨子	
	北条隆博	
	浜田翔子	
	名波はるか	
	谷口賢志	